

# あわら 市議会だより



## 第43号

平成27年1月15日 発行

### 迎春



### 吉崎神楽

## Contents

12月定例会報告	2p
議会報告会	3p
委員会報告	4p
一般質問	7p
行政視察報告	11p
請願・意見書	13p
議案と結果	14p
討論・議会トピックス	15p
ふるさと探訪	16p

1月4日にセントピアあわらで開催した新春舞踊に出演した「吉崎神楽」の様子です。

吉崎神楽の歴史は古く、1471年に蓮如上人が吉崎に来られた時の御文(御文章)の中にも「村人が神楽を踊って喜んだ」と書かれています。

五穀豊穰・家内安全・商売繁盛など、縁起物として、今も受け継がれています。

**議会がインターネットで視聴できます。**

[あわら市議会インターネット中継](#)

[検索](#)

# 第7回 議会報告会を開催しました

10月29日、30日、31日の3日間、市内12ヶ所において第7回議会報告会を開催しました。合計240人の市民の皆様にご来場いただき、9月定例会の審議状況を報告し、参加者との意見交換を行いました。多くのご意見やご要望がありましたので、皆様の声を抜粋して紹介します。

○4月から映像配信を中止することだが、高齢者はインターネットを使えないので見られなくなる。何とか続けしてほしい。

**ケーブルテレビの行政あわらチャンネル放送中止について**

○複式学級がどうして悪いのか。教育上何ら問題ははないと思う。

○児童数の減少に伴い、小学校の統廃合はやむを得ない部分もあるが、一方的に進めるのではなく、地域の意見を聞いて、学区制の見直しも含めて、慎重に進めるべきである。

○平成27年4月から市内一斉に認定こども園に移行するというが、保育料や保育時間・送迎バスなどのサービスを維持してほしい。

**人口減少対策**

○あわら市も人口が減り続けている。定住人口を増やすことを考えてほしい。

○米価の下落をはじめ、農業を取り巻く情勢は厳しく、農業離れがさらに増加すると思うが、これ以上の農業離れを抑えるためにも、後継者対策など、各種農業支援を充実してほしい。

**有害鳥獣対策**

○イノシシをはじめとした有害鳥獣の増加に併せて、固定柵の整備に併せて、個体数を削減するため、駆除する体制を取ってほしい。

○農業への企業参入を推進しているが、途中で撤退するようにならないように指導してほしい。

○要支援1・2の高齢者は、介護保険から外れ、市町村事業に移行させるようだが、サービスが低下しないようにしてほしい。



いちひめこども園

**空き地利用**

○各地区内に空き

○あわら温泉の賑わいを考え、学生合宿誘致事業の対象を高校生以上ではなく、小学生も対象にし、交流人口の増加を図ってほしい。

**学生合宿誘致事業について**

○介護の様子



介護の様子

## 12月定例会

### 平成26年度一般会計補正予算(第5号)

# 5億3,866万を増額



議会報告会(細呂木公民館10月31日)

- 平成25年度各会計の決算を認定
- 一般会計予算総額は153億6,015万5千円に
- 企業立地助成金等 3億6,175万2千円交付
- フットボールセンター建設 菅野地係を候補地に
- 議会選出の監査委員 向山信博議員を選任

平成26年12月定例会が12月1日から18日までの会期で開催されました。

今定例会では、9月定例会で決算審査特別委員会に付託された平成25年度の各会計決算の認定に関する10議案を認定しました。そして、専決処分の承認に関する1議案、平成26年度補正予算に関する7議案、条例の制定・改正・廃止に関する8議案、市有財産の無償譲渡に関する1議案、和解及び反訴に関する2議案、字の区域変更に関する1議案、人事に関する1議案の計21議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

なお、今回は7名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。

その他、請願1件を不採択とし、議員発議により条例の改正1件を可決し、意見書2件を提出しました。

### 新年のごあいさつ

議長 笹原 幸信

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を、ご家族おそろいで、穏やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃は市議会に対し、ご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、お正月には毎年「帰省」が話題になります。都会へ出て「ふるさと」は人々に元気を与え、心のより所となっています。現在、残念ながら都会への人口流出を止めることはできません。限界集落、限界自治体との言葉も生まれ、人口減少が社会問題となっています。この問題を解決する鍵は「ふるさと」だと思います。古い祭りや伝統を受け継いでいる我々の地域が元気であつてこそ、日本が元気になります。「帰郷」の波を起こすため、ふるさとあわらを愛し日々努力していこうと思っております。

終わりにになりましたが、本年が皆さまにとりまして、幸多き年となりますよう、ご祈念申し上げ謹んで年頭のごあいさつといたします。



# 総務文教常任委員会

## インターネット中継で審議状況がご覧になれます。

平成26年度  
一般会計補正予算

### ■政策課

**蓮如上人いろは  
かるた制作補助金  
300万円**

委員 かるた制作はどのような効果があるのか。理事者 いろはかるたは、蓮如上人生誕600年を記念し、「蓮如上いろはかるた制作委員会」に対し、市が300万円、本願寺文化興隆財団が約300万円を補助し、更に協賛金を集めて制作するものである。  
読み札は公募し、絵札は著名な漫画家に描いてもらうため、新たな町おこしや、あわら市のPRにつながるかと考えている。

**マイナンバー制度導入に伴うサーバー利用負担金  
98万1千円**

理事者 平成28年度から社会保障・税番号制度を導入するのに伴い、国が中間サーバーを設置し、データを管理することになり、そのサーバーの利用負担金である。  
委員 マイナンバーが導入されると、個人情報保護を全て、行政が把握できるようにになるが、情報漏えいなどの恐れはないか。

理事者 個人のデータは暗号化され、専用回線でやり取りするので、情報漏えいの恐れはないと考えている。

### ■教育総務課

**小中学校スクールバス購入  
5千374万8千円**

理事者 現在使用しているバスが老朽化し、運行に支障をきたしており、加えて、料金制度改正にともない、いバス運行経

費が高騰する見込みであるため、3台のバスを購入したい。  
委員 バス購入によってどれだけの経費削減になるのか。

### ■スポーツ課

**フットボールセンター建設に伴う測量・調査・設計業務委託料  
3千万円**

委員 調査の結果、現在提示されている建設費6億5千万円がさらに増えることはないのか。

### ■和議をすることについて

#### 反訴の提起について

委員 どのような経緯で和解・反訴になったのか。理事者 創作の森入居作家に貸し付けた住宅建設資金の返済が滞ったため、残債約1千100万円の返済について、返済に応じる連帯保証人とは90



フットボールセンター建設候補地(菅野地係)

#### 和議をすることについて

0万円で和解をし、応じない連帯保証人とは訴訟で争うこととした。  
返済に応じる連帯保証人とは、和解のほうがり円滑な回収ができると考えているが、返済に応じない連帯保証人が、「債務不存在の訴訟」を起したため、やむなく反訴し、回収を図りたいと考えている。



マイナンバー制度 ポスター

# 厚生経済常任委員会

## インターネット中継で審議状況がご覧になれます。

平成26年度  
一般会計補正予算

### ■建設課

**都市計画道路路変更業務委託料  
212万1千円  
(北稲越(菅野))**

委員 新幹線を跨いでの高架の計画であるが、道路の計画変更の中で、県に施工してもらえないようになるのか。  
理事者 元々県道の計画であり、県主体で施工するよう要望していく。また、地元負担が少なくなるよう努力したい。

まずは、路線を変更しての工事の決断を獲得したい。現在は、新幹線計画の最終的な図面が提示されていないので、公表された時点で可能性を探っていく。



檻で捕獲したイノシシ

坂井広域線河間幹線の3路線である。農道でも不特定多数の利用があることから、あわら市で維持管理している。委員 金津地区では、かつて農道であったものを市道

**農林水産課  
有害鳥獣駆除委託料  
85万9千円**

委員 イノシシの個体数を減らすのが根本的な対策ではないか。  
理事者 狩猟免許取得者を増やし、集落ぐるみで捕獲体制を強化してもらい、人的な被害が出ないように、市全体の中で検討していきたい。

**農道維持管理)  
200万円**

委員 農道の補修をどうして市が事業主体で行うのか。通常は土地改良区である。  
理事者 県が整備した基幹農道は、市町村が管理する事となっており、あわら市が管理する農道としては、フルーツライン、

に格上げして管理している。  
また、県営圃場整備事業の中で整備した同じような農道があるので、フルーツラインは別として、農道維持管理の対応について、市の統一見解を出すべきである。  
理事者 補助金の有無や交付税算入など財源的なことを考慮し検討したい。

**観光商工課  
企業立地助成金等  
3億6千175万2千円**

委員 企業立地助成金が非常に高額になっているが、今後の推移はどうなっているのか。  
理事者 平成26、27、28年度は3億円を超える交付になる。(詳細は表のとおり) なお、古屋石塚

	H25	H26	H27	H28
支払済み	216,606	361,752	311,750	303,400

今回の補正予算には、多額の企業立地助成金が含まれています。今年から3年間、3億円以上の助成金が支払われます。



住民基本台帳カード

**あわら市住民基本台帳カードの利用に関する条例等の二部を改正する条例の制定について**

委員 今後の住民基本カード交付手数料は無料とするのか。  
理事者 平成27年4月からコンビニ交付になり、マイナンバー制度は、平成28年の1月からと期間にずれが生ずるので、平成27年4月からの住民基本カード公布手数料は無料として、普及推進していく。

# 市政について問う!

12月の定例会では、7名の議員が一般質問を行いました。ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



**吉田 太一 議員**

- あわらし市公共施設の再配置及びインフラ整備について
- あわらし市の財政及び将来像について



**八木 秀雄 議員**

- 人口減少対策について
- 学校支援ボランティアについて



**山田 重喜 議員**

- あわらし市の人口減少対策について
- 企業の農業参画(丘陵地畑作)について



**山本 篤 議員**

- 景観まちづくりについて
- あわらし湯のまち駅周辺の活性化について
- 過疎化と高齢化に対する福祉政策について



**平野 時夫 議員**

- 胃がんリスク検診について
- 介護支援ポイント制度について
- 福祉教育の授業について



**山川 知一郎 議員**

- 子育て支援の拡充について
- まちづくり事業に伴うワークショップについて



**坪田 正武 議員**

- 市長2期の自己評価と次期の市政抱負について

# 決算審査特別委員会

インターネット中継で審議状況がご覧になれます。

決算審査特別委員会は、平成25年度の決算について、「予算が適切に執行されているか」、「その財政効果が本来の行政効果の目的に適合しているか」、「住民負担とその使途が適正かつ効率的に行われているか」などを重点におき審査しました。そして、次年度以降の事業に反映させるよう、様々な項目において提案や改善を求めましたので、主な項目のみ掲載します。

## ■各課共通事項

### 補助金の交付

適正で効果的な補助金等の交付を行うため、事業終了後においても、効果を検証し、補助金等の必要性、公益性、有効性、公平性、適格性及び透明性について評価すること。

## ■総務課

### 災害情報 テレホンサービス

大変良いサービスではあるが、市民に周知徹底がされているとは言い難く、今後、様々な方法で周知すること。

## ■政策課

### 市民活動サポート 助成金事業

まちづくり活動のための一年かぎりの助成だが、複数年の継続事業とし、公開の場で、成果報告会を開催するよう検討すること。



公開プレゼンテーションの様子

## ■市民生活課

### えちぜん鉄道

えちぜん鉄道の年間乗

## ■健康課

### 国民健康保険事業

現在は、医療費が減少している状況だが、健康づくりサポーター事業

## ■借地料

毎年8千400万円余りを支出している状況で、解約できる土地を精査し、所管課に対しての指導を強化すること。

## ■健康長寿課

### 借地料

現在、借地料が減少している状況だが、健康づくりサポーター事業

## ■福祉課

### 民生委員・児童委員

民生委員の業務が複雑化しており、成り手が少ない現状である。活動事業補助金については、適正な補助金になるよう検討すること。



いきいき教室

や健康教室を充実させ、さらに、ドック健診の拡充など、医療費抑制に向けた取り組みを強化すること。

## ■観光商工課

### 学生合宿誘致事業

現在、対象は高校生以上だが、小中学校生にまで対象を広げ、さらに、合宿以外で各種大会を誘致した場合でも助成するなど、制度の拡充を検討すること。

## ■上下水道課

### 下水道の接続

下水道は水域の水質保全、生活環境の改善のため、また、下水道事業の安定的経営や投資効果を得るためにも、下水道未接続者に対しては、個別訪問など、積極的に接続を促す努力をすること。

## ■建設課

### JR芦原温泉駅 西口アクセス道路

用地買収ができないため、駅前の周辺整備が前に進んでいない。北陸新幹線敦賀開業3年前倒しを要望しており、早急に前進させること。



にぎわい広場と西口アクセス道路のイメージ



吉田 太一 議員

### 公共施設の再配置 及びインフラ整備 について

**吉田** 今後10年間に  
おける全公共施設の大  
改修及び更新費用をど  
のように考えているのか。

大臣から、公共施設等  
の総合かつ計画的な  
管理を推進するための  
計画である「公共施設  
等総合管理計画」の策  
定に速やかに取り組む  
よう要請があったこと  
です。  
計画の策定経費は、  
平成26年度から3年間  
に限り、特別交付税に  
より財政支援があり、  
あわら市は、支援がある  
来年度中に「公共施設  
等総合管理計画」を策  
定したいと考えています。

**総務部長** あわ  
ら市の公共施設の  
老朽化対策は、か  
なり早い段階から  
進めてきたところ  
です。しかし、老  
朽化を迎える施設  
は依然として多く、  
いわゆる更新時期  
が一気に訪れるこ  
とも想定されてい  
ます。  
今年4月に総務



解体を検討している社会福祉センター

**あわら市の財政  
及び将来像は  
どう予想しているのか。**  
**吉田** 今後10年間の  
財政状況はどう予想し  
ているのか。  
**財政部長** 北陸新幹  
線開業に向けた事業な  
ど、様々な投資的経費  
が見込まれているほか、  
社会保障関連経費につ  
いても、高齢化等の進  
展に伴い年々増加するこ  
とが予想されています。  
あわら市は、交付税  
の特例措置の廃止や財  
政需要を想定し、優遇  
措置のある地方債の活  
用や、財政調整基金への  
積立てを積極的に行っ  
てきましたが、今後も、  
社会経済情勢や行政需  
要の変化に適切に対応  
するため、事業の取捨  
選択や優遇債の活用な  
ど、財政構造の弾力性  
の確保に努めながら、  
健全な財政運営を心が  
けたいと考えています。



八木 秀雄 議員

### 人口減少対策 について

**八木** 若い世代や20  
歳未満の未成年者に  
とって魅力ある環境が  
整っているか。

**市長** 市民アンケート  
の中で、これからもあ  
わら市に住み続けたいとい  
う人の割合を見ると、  
16歳から49歳までは、  
70%から80%までの人が  
住み続けたいと回答して  
います。  
また、子育て環境につ  
いては、75%以上が、幼  
児教育については、80%  
以上が「よい」と回答  
しており、現在住んでい  
る人には、あわら市の  
生活環境は広く肯定的に

受け入れられていると推  
察されます。  
また、手厚いと思わ  
れる子育て支援施策につ  
いて、マスメディアや、  
ホームページなど、様々  
な媒体を活用しながら、  
今まで以上に発信してい  
く必要があると考えてい  
ます。

**学校支援  
ボランティア  
について**  
**八木** 学校支援ボラ  
ンティア活動は、学校、  
地域、子どもたちにと  
どのような影響を与えて  
いるか。  
**教育長** 学校  
の様々な活動を地  
域のボランティア  
に支援してもらっ  
ことで、教育活動  
の充実や教員が子  
どもと向き合う時  
間の拡充を図るこ  
とができます。  
また、ふるさと

学習や体験活動などで、  
教員が持ち合わせていな  
い知識や技能を教えてい  
ただくことは、豊かな心  
を育むことにつながり、  
あわら市が目指す「知・  
徳・体」のバランスのと  
れた総合的な学力の推  
進に、大きな役割を果  
たしていると思っていま  
す。  
さらに、ボランティア  
による学校支援は、地  
域全体で子どもを育てる  
環境が醸成され、地域  
の教育力が高まることも  
に、地域の活性化にも  
資すると考えています。



見守り隊



山田 重喜 議員

### 人口減少対策 について

**山田** 総合振興計画  
の人口基本フレームは、  
どうなっているのか。対  
策本部でアドバイザー  
的な人材を起用する考  
えはあるのか。

また、企業等との協  
定など、実現性、効果  
のある計画なのか。

**市長** 人口基本フ  
レームについては、第2  
次総合振興計画策定で  
対応し、対策本部にお  
ける外部人材導入につ  
いては、今後検討します。  
企業等との協定につ  
いては、現時点で未定で  
すが、福井工業大学と包

括協定を結んでおり、  
今後大学との連携につ  
いて検討を行いたいと思  
っています。  
実現性・効果のある  
計画策定については、人  
口減少対策の効果はす  
ぐに現れるものでなく、  
長い時間を要するもの  
です。現在人口減少対策  
本部で検討を進めてい  
る段階です。  
**丘陵地における  
企業の農業参画  
について**  
**山田** 当初計画ど  
う企業との事業運営が  
なされているのか。  
また、事業の検証を  
行っているのか。地元  
有志が事業を実施する  
場合でも対応するのか。  
**経済産業部長** 耕作  
放棄地については、企業  
の受け入れにより一定の  
効果があがっています。  
企業の事業運営について

は、計画の収益や雇用  
拡大が十分でないのが現  
状です。  
事業の検証については、  
目標値に対する各年度  
の実績を取りまとめ、  
5年間報告を求めると  
にしています。今後も、  
県・丘陵地農業支援セ  
ンターと連携し、定期  
的に実績に基づく営農  
計画の見直し等、指導  
を強化したいと考えてい  
ます。  
企業の業績不振等に  
よる撤退が無いよう、  
関係団体との連携や企  
業との意思疎通をこれ  
まで以上に強化したい  
と考えています。  
地元有志等による農  
業参画は、県の補助事  
業の要綱では、原則3  
戸以上の農家で構成さ  
れた組織であれば、補  
助対象となります。



山本 篤 議員

### 景観まちづくり について

**山本** 景観まちづく  
り協議会の設置目的と  
設立経緯は何か。

**土木部長** 豊かな自  
然と歴史を守り、景観形  
成を切り口とした多様な  
取組みを推進することを  
目的としており、J・R芦  
原温泉駅前の地区は、関  
心も高く、昨年度の勉強  
会を契機として設立に  
至ったものです。

**山本** どのような支  
援を考えているのか。  
**土木部長** まだ立ち  
上がったばかりでもあ  
り、手探りで進めている  
状況です。必要とあれば、  
補助金などの支援策も

考えます。  
**あわら湯のまち駅  
周辺の活性化  
について**  
**山本** 湯のまち広場  
における駐車場の確保  
はどうするのか。  
**経済産業部長** 湯の  
まち駅南口駐車場を整  
備します。近接した駐車  
場が何より便利ですが、  
計画段階から、まちなみ  
の景観を損なう停車場  
は、郊外に配置したいと  
の方針により、駅南に設  
置することとしたもので  
す。  
**山本** 湯のまち駅舎  
の活用方法はどのよう  
なのか。  
また、「児童公園」及  
び「市営駐車場」の維  
持管理経費は、どれく  
らいと見積もっているの  
か。  
**土木部長** 観光協会  
を湯のまち駅舎内へ戻す  
べく、協議を進めている

公園の維持管理経費  
は、全体で約75万円程度  
と試算しています。駐車  
場につきましては、現在  
のJ・R芦原温泉駅周辺  
の市営駐車場を参考に  
検討したいと考えていま  
す。  
**山本** 過疎化と高齢  
化の進む地区における  
「福祉行政」をどう考  
えているのか。  
**市民福祉部長** 地域  
住民やボランティア等に  
よる「コミュニティケア活  
動」の推進として、課題の  
把握や必要な生活支援  
サービスの検討を行って  
いきます。また、「元氣な  
高齢者」を対象に「コミュ  
ニティビジネス」の展開を  
考えていきます。



平野 時夫 議員

### 胃がんリスク検診について

**平野** 胃がんはピロリ菌の感染症である。検診と除菌で撲滅できるが、無料検診を実施する考えはあるか。

ついて検討したいと考えています。  
**介護支援ポイント制度**について  
**平野** 高齢化が急速に進展する。介護支援ポイント制度は、時宜にかなった施策であると思うが、制度導入の考えはあるか。

### 市民福祉部長

地域全体で高齢者を支える仕組みづくりが益々重要と考えています。

**市民福祉部長** 本年9月「国際がん研究機関」が、胃がんの8割がピロリ菌の感染が原因と認めました。厚労省は、ピロリ菌抗体検査の有効性、安全性やコスト面を考慮し、胃がん検診へ導入するかの検討を進めていくとしています。国の動向を見ながら、県、坂井地区医師会等の関係機関と協議し、導入に

本市においても、介護支援ポイント制度は、社会福祉協議会に委託して「生活・介護支援サポーター事業」として実施しています。  
今後は、介護保険制度の改正により、「介護予防給付」から市町村が取り組む「新しい地域支援総合事業」に変更となります。元気な高齢者自身がサービスの担い手とし

「コミュニティケア活動」、「コミュニティビジネス」を展開して行くことで、健康で安心して暮らせる地域づくりが進んでいくものと考えています。

### 福祉教育の授業

**平野** 学校教育にボランティア活動の体験学習を取り入れるなど、福祉教育に力を入れる考えはあるか。

### 教育長

市内の小中学校では、老人施設訪問、幼稚園での体験活動、地域の環境美化等、人権や道徳教育、福祉を組み合わせた教育が行われています。今後も福祉の観点に立つて学習活動を展開していく考えです。



山川 知一郎 議員

### 子育て支援の拡充について

**山川** 人口減少対策として、子育て支援が必要。子どもの医療費助成を高校卒業まで引き上げるとともに、医療機関窓口で支払わなくてもいように窓口無料化すべきではないか。

支援は重要と考えています。すでに第3子の保育料を無料としており、さらに来年から5歳児の子ども園料も無料にします。

### まちづくり事業に伴うワークショップ

しかし、医療費助成を高校卒業までとすることは考えていません。また、窓口無料化については、県下統一した取り組みが必要であり、各市町の動向を見ながら検討します。

### 教育部長

中学校のスクールバスについては、受益者負担の原則に基

### 総務部長

まちづくりについては賛否両論がありますが、説明を尽くし、納得いただいたと考えています。

また、小学校のスクールバスは無料なのに、中学校は有料としていることに合理的理由はない。義務教育における教育の機会均等の観点から、無料にすべきではないか。



スクールバス

また、施策についての意見は尊重したいと思いが、最終決定権は市にあります。



坪田 正武 議員

### 橋本市政2期の自己評価と次期の市政抱負について

**坪田** 「若い世代が住み、生み、育てたくなるまちづくり」、「安心して安全なまちづくり」、「北陸新幹線開業を見据えたまちづくり」の観点から、これまでの総括と次の3期目に向けた展望と決意を伺いたい。

### 市長

「若い世代が住み、生み、育てたくなるまちづくり」については、HEECE構想が、年を重ねるごとに内容が充実し、市民アンケートの結果からも、子育て

世代を中心とした多くの市民から賛同を得ています。今後ともHEECE構想の充実と「若い世代が住み、生み、育てたくなるまち」の実現に努めたいと考えています。  
次に、「安全で安心なまちづくり」については、まず学校施設の耐震化を進め、22年度末までに全ての小中学校の耐震化を完了しました。そして、防災行政無線網の早期整備と、自主防災組織の設立促進、資器材の整備等に努めました。今後も市民が安心して暮らすことができるようにしたいと考えています。

万全の体勢で北陸新幹線金沢開業を迎えたいと考えています。  
北陸新幹線金沢開業とそれに続く県内延伸により、多大な経済効果が試算される一方で、周辺整備や並行在来線の運営など、解決すべき課題は山積しています。よって、市民の皆様からご意見を伺い、議会も十分協議をしながら、その都度最善かつ的確な判断をするよう努めたいと考えています。  
2期8年をかけて育んできた施策が、市にとって、多くの実を結ぶことを願っています。結果に対する責任は、私にあります。

### 議会運営委員会

### 行政視察報告

新潟県柏崎市では「通年議会導入を含めた議会改革について」、長岡市では「アオーレ長岡について」視察研修を行いました。柏崎市議会では、開かれた議会、市民により親しまれた活力ある議会を目指し改革を進めています。

特に関心をもったのが、通年議会の採用です。通年議会とは、会期を毎年5月1日から翌年の4月30日までとするもので、5月に1度招集されれば、1年間いつでも議を開くことができます。通年議会を採用しても、従来の定例会に準じ、年4回、定期的な定例会議と称し、会議を開催しています。通年議会ですから会議期間が終われば休会となりますが、再開は議長の

権限で議会側が主体的にかつ迅速に会議を開けます。そのことにより、首長の専断処分が減少し、十分な審議時間が確保され、議会運営の充実、活性化が図られるとのことです。  
次に長岡市のアオーレ長岡は、市役所とアリーナが一体となった複合施設であり、市民との協働の場を作ることを重視して建設されたものです。

アリーナでは、体育施設の機能として、大きなスポーツ大会の開催、高齢者の健康体操の場、また、コンサート会場としても使われます。  
アオーレ長岡の中心部は、市民が憩える大きな「ナカドマ」(中



アオーレ長岡のガラス張りの議場

### 総務文教常任委員会

#### 行政視察報告

当委員会は、愛知県西尾市で「西尾市公共施設再配置計画について」、岐阜県笠松町で「多目的運動場（フットボールセンター）について」視察研修を行いました。

西尾市は、人口減少が進む中、将来の世代に負担を先送りさせないこと、及び今後の10年間で公共施設の更新時期が一気に押し寄せてくることを理由に、改革に取り組んでいました。

特に優れていると感じたことは、今後10年間にわたる全施設の大改修及び更新費用を試算していること、及び全八コモノの維持運営コストを詳細に記した「公共施設白書」を作成し、「見える化」をしていることです。

施設の現状を具体的に示すことは、市民への説

得力があり、市民と共に問題を共有できていることが素晴らしいと思えました。

次に、笠松町のフットボールセンターは、都道府県フットボールセンター整備助成金事業を活用し、平成24年に完成した天然芝一面、人工芝一面のサッカー場です。

フットボールセンターを整備するにあたり一番大変で、一番重要なことは、場所を確保することです。

建設地が決定さえすれば、その後は県サッカー協会の積極的な協力が得られ、スムーズに事業が遂行できたということです。

あわら市もフットボールセンターの計画



岐阜県フットボールセンター(笠松町)

があります。笠松町の説明で、フットボールセンターを行政と市民がどのように活用していくかが、大切だと感じました。また、学生合宿など波及効果を最大限に高めてほしいと思います。

#### 行政視察報告

当委員会は、岐阜県の下呂市で観光振興について、郡上市で鳥獣害防止について視察研修を行いました。

下呂市観光計画の基本コンセプトには、「市民が共通の意識を持ち、一体となってお客様をもてなす」というものがあります。

地域の伝統や文化・美しい風土を、子どもたちが守り受け継ぐ事ができ、誇りを持って案内できるよう、観光教育を市内8箇所の小中学校で展開していました。

下呂市観光工部が作成している「宿泊調査一覧表」は、月毎の宿泊数に加え、どの地域から訪れているのか、交通手段は何かなど、一目で分かる資料でした。これは観光政策を展開して行く上で、当市でも詳細なデー

タ収集を行う必要があると感じました。

次に、郡上市の鳥獣害対策ですが、被害対象の鳥獣は、イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ハクビシン、カラス、カワウで、その被害総額は、膨大な額のことです。

郡上市の宮地地区は、鳥獣被害防止5策を考え、様々な角度から、活動を行っていました。アイデアを出し合い、住民の信頼と絆の醸成を生み出す取り組みを行っており、これは、仲間意識を作りながら地域貢献しているという、新たな「まちづくり」だと思いました。

郡上市の特徴的な取り組みとして、鳥獣の追い



郡上市 宮地地区での視察

### 厚生経済常任委員会

#### 請願・意見書

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

#### 「敦賀駅での乗換をなくすため、特急「サンダーバード」の「しらさぎ」の存続を求める意見書採択のための請願書」

##### 「要旨」

北陸新幹線敦賀開業後もJR北陸本線の特急列車「サンダーバード」「しらさぎ」を存続させることを強く要請する。

特急が廃止されると、関西・中京方面への行き来には、敦賀駅での乗換が必要になり、利便性が悪くなる。

「提出者」北陸新幹線福井延伸と在来線を考える会 松原 信也

「結果」不採択

##### 「不採択理由」

並行在来線がJRから経営分離されることは、整備新幹線着工の条件であり、北陸本線金沢・敦賀間の経営分離についても、平成24年5月にあわら市も同意している。よって、敦賀開業後において、特急列車を走らせることは困難である。

今後は、同一ホームにおける対面乗換など、利用者の利便性が確保されるよう、国やJRに対策を求めていくべきである。



北陸新幹線新車両「E7系」

#### 「農業改革に関する要請書」

##### 「要旨」

規制改革会議がまとめた「農業改革」の提案は、政府が目指す「農政改革」や「農業・農村の所得倍増」の実現に支障をきたす。よって、今後は、真に農村の所得向上と農地の有効利用につながる施策の構築を強く要請する。

「提出者」花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一

「結果」国へ意見書を提出 福井県農政連坂井支部 支部長 北島 友嗣



収穫前の稲穂

★その他、要望書が提出されていますので、件名のみ掲載します。

#### 「生涯現役社会の実現」に取り組むシルバー人材センター支援の要望

「提出者」公益社団法人全国シルバー人材センター連合 会長 伊與博子 公益社団法人あわら市シルバー人材センター 理事長 渡邊重夫

#### 「今後の水田農業政策に関する要請書」

コメの生産調整を、生産者個々の判断で行うことは困難である。需給のバランスが崩れ、担い手農家の経営を大きく圧迫する恐れがある。また、コメの





